

# 訪問看護ステーションの現状と活性化の方策

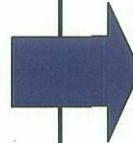
## 訪問看護ステーションの現状

- 訪問看護ステーション設置数〔約5,480カ所〕
- 訪問看護ステーション看護職員数〔平均4.2人〕
- 1件当たりの所要時間〔平均122分〕
- 利用者数〔28万人程度〕
- 介護保険におけるシェア〔1,270億円〕
- 医療保険におけるシェア〔300億円〕



## 経営に関する諸課題

- 規模が小さく安定的な事業運営が困難
- 全国的に事業所が偏在・不足
- マンパワー不足で、新規の受け入れ困難
- 報酬設定が低く、採算が合わない
- 報酬上評価されていない内容が多い
- 記録・請求等事務が繁雑で業務に支障
- 訪問看護サービスの内容・価値のPR不足



## 活性化に向けて取り組む事項

### 1) 利用者把握の適正化、整備目標設定

- ◆地域単位で訪問看護需要予測を行い、在宅ケア供給体制の整備目標をたてる。
- ◆訪問看護ニーズ発見から訪問看護利用までの阻害要因の分析・対策

### 2) 事業経営の安定化(拡大・機能拡充)

- ◆安定した経営戦略の検討(経営健全化コンサル、複合化経営モデルの提示)
- ◆事業規模拡大(職員確保、利用者拡大)
- ◆在宅移行支援、ターミナルケアなど機能充実

### 3) 訪問看護ステーションのコモン・システム確立

- ◆利用案内・コールセンター、記録・請求事務業務、衛生材料供給等の訪問看護周辺業務を一括して請け負うコモン・システムの試行・整備。